高津戸北部周辺(モデル地区) 進捗状況

参考資料５

1. 検討経緯

2021(R3).2.1　第4回千葉市地域公共交通活性化協議会
→公共交通不便地域における施策検討に向けた取組として、“高津戸町北部等”をモデルとして地域の実情等を把握。

2021(R3).2.13　高津戸町内会組長会議
→市施策の説明＆移動ニーズ調査(アンケート)の配布

2021(R3).3.13　高津戸町内会組長会議
→移動ニーズ調査(アンケート)の回収　【回収数:286 世帯(回収率:約 61%)】

2021(R3).5.8　高津戸町内会組長会議
→移動ニーズ調査(アンケート)の結果概要報告＆地区内協議会発足の提案
→市施策＆地区内協議会に関する地元説明の開催案内

2021(R3).5.26　第5回千葉市地域公共交通活性化協議会
→移動ニーズ調査(アンケート)の結果報告

2021(R3).5.29　住民説明会の開催

2021(R3).6.12　高津戸町内会組長会議
→地区内協議会への参加意向調査

2021(R3).7.31　高津戸町にて「交通対策協議会」設立
第1回交通対策協議会の開催(役員選出、今後の流れを説明 ほか)

2021(R3).10.30　第2回交通対策協議会の開催(ワークショップ)

2. 高津戸町内会概要

組・自治会数:20 (世帯数:266 世帯)　※R3.5.8 時点

≪高津戸町人口(令和3年3月末時点)≫

		15歳未満	15～64歳	65歳以上
総数	2,692	192	1,383	1,117
男性	1,309	91	707	511
女性	1,383	101	676	606

※高齢化率:41.5%(市全体:26.1%、緑区:23.0%)

≪主な公共交通機関≫
・鉄道　JR外房線(最寄り駅:JR土気駅)
・路線バス　千葉中線(千葉中央バス㈱)
・タクシー　山川タクシー㈲、㈱鹿野西岬タクシー　ほか

≪主な地域内サービス≫
・移動販売(イオンスタイル鎌取)

高津戸北部周辺(モデル地区) 進捗状況

◇交通対策協議会(高津戸町)の立ち上げ

地域内の交通課題について互いに話し合い、課題解決策を協議・検討していく場を作りませんか？

交通対策協議会【2021.7.31設立】

≪目的≫
高津戸町において、地域交通の課題整理を行うとともに、地域特性及び移動需要を考慮した持続可能な地域交通について協議・検討する。

≪メンバー構成 ≫
・会長(とりまとめ)
・副会長(会長の補佐)
・会計(協議会の出納事務)
・会員

交通対策協議会で検討していく事項は？

地域の暮らしを支える柔軟な移動サービスの実現

地域の将来
将来を考え、地域内で移動に困る方々はどれほどになるのだろうか。

生活実態の把握
アンケートでは答えられなかったけど、ご近所で助け合って移動している。

地域ニーズの調査
今は元気にマイカー運転しているけど、将来に向けて不安がある。

移動サービスのアイデア
地域内を走っている移動サービスは、私たちも利用できないのか。

行政・事業者との役割
地域ができること、行政ができること、事業者ができることは何か。

若者の移動ニーズ
高齢者だけでなく、実は若者も地域内の移動に不便を感じている。

今を知る → 知識を得る → 未来を考える → 地区内の合意

高津戸北部周辺（モデル地区） 進捗状況

◇交通対策協議会（高津戸町）の立ち上げ

第2回 交通対策協議会（2021.10下旬）

今を知る

【グループワーク】

「普段の移動を振り返り、
現在そして近い将来に最も移動で影響のある
生活行動※は何か？」

※日常生活における労働、家事、通勤・通学など。

主な意見

≪現在の課題≫

- 買い物は生協や移動販売などがあり特段の問題はないが、注文などは辛いと感じることがある。
- マイカーが無ければ全ての生活が出来ないため、代替の移動手段は限られる。
- 病院までの送迎でタクシーを使用するが料金が高く、家計を圧迫する。
- 家族内で誰かが運転し、買い物や病院までの送迎を頼めることができれば安心。しかし、家族内に頼める方がいない家庭が多い。
- 地区内の土気町17号線を含め道路環境は悪い。（狭い、維持管理が行き届いていない など）

≪近い将来の課題≫

- 自家用車だけでなく、運転免許自体を持っていない方もいる。その方は移動販売のみが頼りであり、それ以外の移動はタクシーである。
- 現在は自家用車・免許を所有しているため、通勤・買い物時の移動手段はある程度確保されているが、免許返納をした場合に移動手段がなくなるため不安である。
- 免許返納後の移動手段については、小型の車両（デマンドタクシーなど）を導入するのが良いのではないか。道路幅の課題にも対応できる。
- 行政等から車両をリースしてもらい、ボランティアで運転を行うこともできるのではないか。しかし、他地区の話ではボランティア運転手も高齢化などの問題もある。
- 免許返納はまだ将来のことだと思っていたが、子供たちから早期の免許返納を促されており、2～3年後に訪れる恐れがある。

①地域の交通実態の把握

◆地域のみなさんは、どのような移動をどの程度しているのか？

◆地域のみなさんが移動に関して、どのような課題を抱えているか？

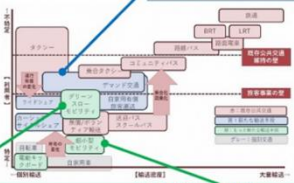
地域の現状と課題を把握することが非常に重要

②公共交通サービスの検討

◆新たな移動手段が続々登場
◆高津戸地区の課題解消に適した、交通サービスがあるはず

デマンド交通

利用者の予約に基づき運行区域内の希望する区間を運行するバス



グリーンスローモビリティ

電動で時速20km未満で公道を走る、4人乗り以上のバス

超小型モビリティ

自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる1人～2人乗り程度の車両